

課題

〔自分の考え〕

観察

観察1-B・自然環境【水】を調査する

〔目的〕 指標となる生物の種類と数から、川の水質が人間の活動の影響を受けているかどうかを確かめる。

〔準備〕 □ネット □バケツ □大型のバット □ペトリ皿 □ピンセット □ルーペ □移植ごて □温度計 □水生生物図鑑 □ゴム手袋 □ぬれてもよい靴

ステップ1

水生生物を採集して、種類を調べる

- 1
- 水の深さが30 cmほどで流れがある地点を選ぶ。

禁止

・ダムの放水などによる増水には十分注意し、増水時には川に近づかない。また、必ず先生と一緒に採集し、一人で川に近づかない。

- 2
- 石を持ち上げたあとの川底を移植ごてで掘り、流されてきた水生生物をネットで受ける。
- 3
- 持ち上げた石の表面やネットの中の水生生物をピンセットでとり、バットやペトリ皿に移す。
- 4
- 採集した水生生物の種類を281ページの資料を参考に調べ、指標となる生物を探す。



- 【結果の記録】
- 調べた結果を右のような調査票に書き込む。

水生生物調査票		河川名	中川
調査地点		中流	
水温〔℃〕			
水の様子	指標となる生物		
きれいな水 (合計 点)	1	カワゲラ類	
	2	ナガレトビケラ類	
	3	ヤマトビケラ類	
	4	ヒラタカゲロウ類	
	5	ヘビトンボ類	
	6	ブユ類	

月	日	天気	年	組	番	名前
水生生物調査票			河川名（ ）			
調査地点						
水温〔℃〕						
水の様子	指標となる生物					
きれいな水 (合計 点)	1	カワゲラ類				
	2	ナガレトビケラ類				
	3	ヤマトビケラ類				
	4	ヒラタカゲロウ類				
	5	ヘビトンボ類				
	6	ブユ類				
	7	ウズムシ類				
	8	サワガニ				
少し汚れた水 (合計 点)	9	シマトビケラ類				
	10	ヒラタドロムシ類				
	11	カワニナ				
	12	ゲンジボタル				
	13	シジミ類				
汚れた水 (合計 点)	14	ミズムシ				
	15	ヒル類				
	16	タニシ類				
大変汚れた水 (合計 点)	17	セスジユスリカ				
	18	イトミミズ類				
	19	サカマキガイ				
	20	アメリカザリガニ				

考察

・水生生物の種類や数から、採集した川の水質は、どのような状態だと考えられるか。

〔他の人の考えや意見を記録しよう〕